

記入日：令和2年7月20日

所在地（都道府県/市町村）：秋田県／秋田市		
法人名：社会福祉法人 緑光福祉会		
施設・事業所名：社会就労センター 緑光苑		担当者名：伊藤 佳子
事業種類：就労継続支援B型		
主たる障害：3 障害		令和2年3月末現在 定員： 40 人
TEL:018-889-7001	FAX:018-889-7002	E-mail:yoshi@ryokkouen.jp

① 令和元年度までの主な取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> ・印刷（名刺、封筒、チラシ等のデザイン、印刷） ・木工（下請での贈答用木箱作り等） ・役務（メール便の封入封緘、宛名シール貼り、箱折り等） ・リサイクル事業（発砲スチロールの回収、減溶作業）
--

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

<ul style="list-style-type: none"> ・取引先の休業等による作業・売上の減少 ・衛生用品・備品消耗品の購入等による経費の増加
--

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

事例タイトル：工賃アップを目ざしたガラスコーティングへの新規取り組み
<p>取り組み内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、ホコリ、キズがつきにくくなるコーティング剤をガラスに施す。 ・官公需および店舗等での需要を想定。

④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

<p>令和元年9月に東京で開催された就労支援フォーラム NIPPON 特別企画の「セルフワーキングフォーラム」に参加し、企業のブースで、一般社団法人 神戸コーティング施工協会の話を知ったのがきっかけとなった。</p> <p>今まで、役務として清掃等の作業は行っていなかったが、新たな作業として関心を持ち、翌10月には、神戸の協会に見学に行き、作業の様子などもみせてもらい、協会加入を決め</p>

た。

コロナの影響により、売上減が予測されることから今後の工賃アップをめざし、新たに取り組みをスタートした。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

まだ受注実績はなく準備・訓練段階であるが、コロナの影響で作業量が少なくなった今、練習を重ねている状況（現在4名の利用者が訓練を行っている）。

当初予定では、協会から研修指導に来てもらったり、神戸に研修に伺う予定だったが、コロナのため協会から送られてきた研修DVDをつかって練習を行っている。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

- ・一般社団法人 神戸コーティング施工協会 入会金・契約金 合計 ¥664,620
- ※契約すると研修DVD、清掃用具、洗剤等備品がセットで送られてくる
- ※仕事の紹介、斡旋等はなし。

⑦ 今後の課題・展望

コロナの影響をうけて新たな顧客の獲得が課題となっている。

今後は、官公需や店舗等からの受注をめざして、地元紙を通じて広報を行っていく予定。



